

佐渡生きものの語り 作品集 2014



「生きものの語り」について

平成20年、一度は姿を消した朱鷺が佐渡の空に舞い戻ってきました。これを機に佐渡では、朱鷺の餌場である田んぼを生きものでいっぱいにしようと、農薬や化学肥料を極力減らし、生きものたちの命を大切にす環境との共生を目指す「生きものを育む農法」を取り入れました。

私たちの最初の目標は「朱鷺の餌」を確保することでしたが、生きもの調査などを通して田んぼの生きものたちと身近に接していくうちに、田んぼには実に様々な生きものたちが命の営みを繰り返しながら懸命に生きている姿を目の当たりにします。そしてこの生きものたちの力を借りる事によって、より豊かな自然環境の創造やお米づくりができることを教えてもらったのです。

佐渡市では「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を全島に広げ、より安心して美味しく食べてもらえる佐渡米づくりに奮闘しています。

毎年6月第2週と8月第1週の日曜日は「全島一斉生きもの調査の日」として農家はもちろんのこと、地域の子供たちや消費者も一緒になって生きものたちと向き合おうとしています。

「生きものの語り」とはそんな生きものたちへの〈へまなざし〉を文章や川柳、イラストなどで表現したものです。

朱鷺を見て

学童動かず

秋の夕

品川 三郎
(佐渡市)

《選考委員から》

夕空に映えるトキ色の翼。美しいものを見た感動は、理屈抜きで心に染み入ります。
この子どもたちは、将来どんな佐渡を造ってくれるのでしょうか。

生きものと 恵み分け合う 佐渡の情

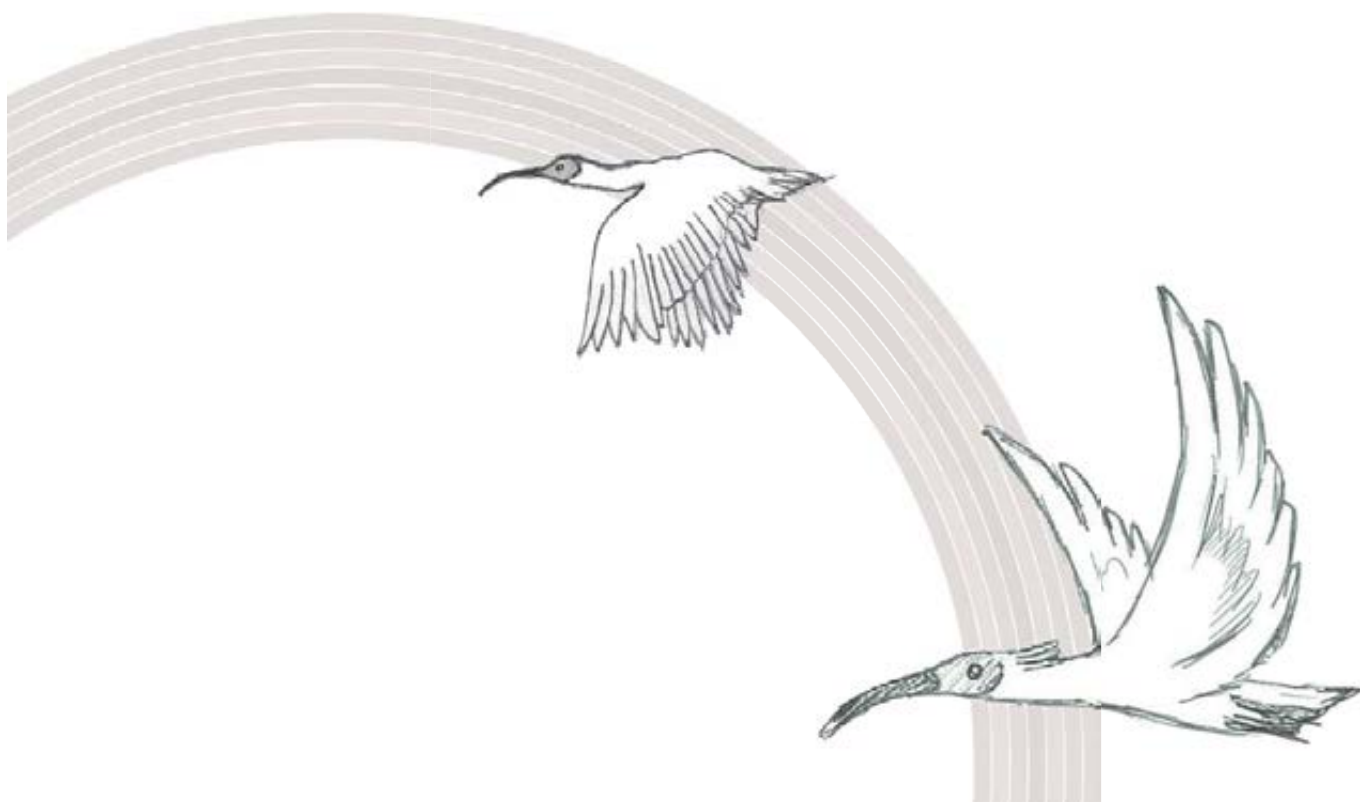
梶浦 公靖 (東京都)

雨上がり 朱鷺と競うか 佐渡の虹

野原 重政 (兵庫県)

大空の 上からトキの おもてなし

綾部 保知 (茨城県)





※ フォト川柳部門は1作品のみの応募の為、特別賞とさせていただきます。

とと
父と一緒に田んぼのお世話

ペンネーム・茶爺 (佐渡市)

ポエム（詩）部門 特別賞

※ ポエム（詩）部門は1作品のみの応募の為、特別賞とさせていただきます。

KOTA SADO

— KOTA SADO —

— 佐渡への想い —

オム・サイ（インドネシア）

K = KEHANGAN YANG INDAH TIDAK BAPAT KAMI LUPAKAN
DI KOTA SADO. MASYARAKATNYA SANTUN SURU -
TAMANNYA.

K：この美しい佐渡を 礼儀正しい
人々を 忘れることは決してないだろ
う

O = OBYEK WISATANYA SANGAT MENARIK SEKALI
TERUTAMA BURUNG TOKI, CANTIK SEKALI
WALAUPI JAUH NAMUN BEKAT DI HATI

O：観光地 朱鷺をはじめとした魅力
ある地 トキは目には遠いけれど 心
のそばに

T = TERLUPAKAN KAMPUNG HALAMANNYA
KARNA KEINDAHAN KOTANYA SADO DAN
KECANTIKAN ANAK BARENYA SERTA IBU
DAN GANTENG BAPAKNYA.

T：忘れられない美しい郷 街は美し
く、乙女は可憐で 婦人は美しくそし
て、男性は格好いい

A = ALANGKAH INDAHANA HIDUP INI APABILA KAMI
KEMBALI LAGI DI KOTA SADO INI, DAN JUGA BAPAK
IBU DATANG KETEMPAT KAMI KETAPANIS
TINGP

A：この佐渡に 再び戻ってくるこ
とが叶うならば 私の人生はもっと素晴
らしくなることだろう

S = SEJUK UDARANYA, SUBUR TANAHNYA SEPADAN
DEN MASYARAKAT DAN LINGKUNGAN MAHLUK
HIDUP LAINNYA.

S : 涼しい空気 肥沃な大地 そこに
暮らす人々や生きものとうまくつり
合っている

A = ALAMKAH WDAH KOTANYA, PERLIHAT
GEMUNG KIRI KANAN, TERBENTANG SAWAHNYA
BURUNG TOKI MASKOTNYA.

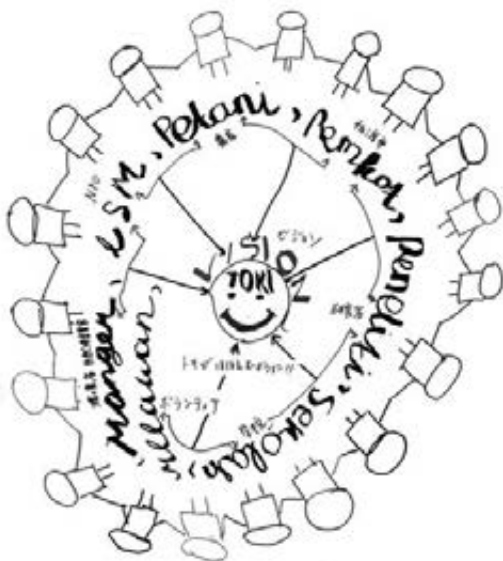
A : ああ なんて美しいまちだろう
左右に見える山々 広がる田んぼ そ
してトキは町に幸運をもたらすものだ

D = DILIHAT DARI JAUH KOTA SADO TETAP MENARIK
DAN DI LIHAT DARI DEKAT TIDAK MAU —
BALIK/KEMBALI KE INDONESIA

D : だから遠くから見ても 素晴らしい
佐渡のまち 近くで見たらインドネ
シアに帰りたくなくなるほどに

O = ORGANISASI SANGAT BAIK, MAJU KARNA SEMUA
PIHAK MENUNDAKUNGNYA : LSM, PERUSAHAAN
PEMERINTAH, LEMBAGA ? LAINNYA KARNA KASIH
SAYANGNYA KEPADA MASYARAKAT, ALAM DAN —
MAHLUK HIDUP PADA LINGKUNGANNYA.

O : おお この優れた体制 —市民団
体、企業、行政—皆が一丸となって
地域と自然とそして生きものを愛して
いるのだ



2014年6月にインドネシアからJICA研修で来島されたオム・サイさんが佐渡への想いを詩にしてくれました。訳：Yamadaさん

佐渡キッズ 生きもの調べ あめんぼう
水馬

品川 三郎

佐渡に生き 小鳥も虫も みんな友

田岡 弘

我が田畑 トキが見守る 佐渡の空

木立慈雨

ありのまま 命をつなぐ 森川海

泰平楽

秘密基地 木の上じいじ やんちゃ顔

泰平楽

手をかざし ヤンマのあにき 棚田越え

泰平楽

朱鷺の舞う 空どこまでも 秋の青

貝田 ひでを

涼新た 島どっしりと 日本海

貝田 ひでを

佐渡Kids 生きもの調査隊
米袋イラストギャラリー



佐渡Kids 生きもの調査隊
須田 優心

稲干して 黄金の夕日 佐渡の空

貝田 ひでを

草木も 鳥も人もなびくよ 佐渡島

梶浦 公靖

四季の田に いきもの語り 佐渡賛歌

梶浦 公靖

いきものの 賛歌が聞こえる 佐渡の四季

梶浦 公靖

なびくのは 草木ばかりか 生きものも

梶浦 公靖

稲刈りを 雀の家族が 済むを待つ

梶浦 公靖

芋畑 ミミズ顔出す 雨上がり

梶浦 公靖

海鳥よ お供どこまで 佐渡フェリー

梶浦 公靖

朱鷺がいる 昭和の情景 ここにある

梶浦 公靖



佐渡 Kids 生きもの調査隊

宮川 優奈

佐渡の森 マイマイカブリがかくれんぼ らくちゃん

用水の流れにイモリ 立ち向かい らくちゃん

佐渡島 目指せ日本のビオトープ らくちゃん

くちばしをとがらせ孫は トキの真似 綾部 保知

ひねくれて くちばしとがらす 孫のトキ 綾部 保知

水槽の イカの白さと 君の肌 綾部 保知

雨上がり 朱鷺と競うか 佐渡の虹 野原 重政

真野湾を 茜に染める 佐渡の夕 野原 重政

いわし雲 朱鷺も眺める 佐渡の秋 野原 重政



佐渡Kids生きもの調査隊

三條 日菜子

朱鷺が舞う ノスタルジーだ 佐渡の空 野原 重政

佐渡おけさ 波まで踊る たらい舟 野原 重政

朱鷺色を 見れば佐渡が 恋しなり 中村 宗一

大空を 自由に飛べる 佐渡が好き 中村 宗一

篝火に 落ち葉ざわめく 能楽堂 かたつむり

人里の 空に親子の トキが舞う かたつむり

日が沈む 沢崎鼻の 灯台に みゃんくん

ダイビング キャンプ磯釣り 佐渡島 みゃんくん

青い海 日本海なの 佐渡島 みゃんくん



佐渡 Kids 生きもの調査隊

三浦 里紗

渡り鳥 羽根を休める 佐渡の浜 みゃんくん

釣り人が 岩に群がる 佐渡の海 みゃんくん

過去未来 佐渡の歴史と 時流れ 野原 重政

のんびりと 海岸めぐる 二ツ亀 野原 重政

黄金色 佐渡金山の 歴史見る 野原 重政

荒海も 佐渡へ佐渡へと 波寄せる 野原 重政

佐渡島 朱鷺と歴史を 語り継ぐ 野原 重政

鬼太鼓の 神のり移る しだら打ち かたつむり

トキ時は 里の田畑で 羽根休み 佐々木 文夫



佐渡Kids生きもの調査隊

古玉 俊平

佐渡おけさ 聞けばお酒も また美味し

綾部 保政

来島に 喜び顔の 雀たちて

綾部 保知

たらい舟 むかしの乙女 華ひらく

綾部 保知

一歩づつ 自然を友に 歩む佐渡

野原 重政

海原を 大波小波 佐渡目指す

野原 重政

たらい舟 佐渡の波間で 身を任す

野原 重政

朱鷺眺め 里山訪ね 佐渡巡る

野原 重政

トキの声 聴いて元気に なれる今

綾部 保知

おはようと 生きものたちに 今日もまた

綾部 保知



佐渡 Kids 生きもの調査隊

伊藤 蒼

ゆつくりと 佐渡の歴史に 朝が来る

小坂 武弘

トキが来て トキには和む トキの声

小坂 武弘

大自然 飲み食いすれば 温暖化

小坂 武弘

1年中 今が自然を 語るトキ

お酢

去りし日も 心に残る 佐渡のT O K I

森 惇

佐渡に行き トキに会えたら 幸福だ

山田 浩則

赤トンボ 追っかけている 佐渡のトキ

山田 浩則

時は今 野生に帰れ 朱鷺放つ

たかさま

雪虫の 飛ぶ方遙か 北の海

たかさま



佐渡 Kids 生きもの調査隊

大豆生田 悠稀

ふるさとの 棚田の果てで 鹿の子泣く

たかさま

虫の音が 清かに響く 君の里

たかさま

稲の穂が 光り輝く 青春を

むこう

穂先から 湧き出る想い 手をそえて

むこう

新鮮な 気持で渡る 朱鷺の島

大釜 洋志

雨ごいを している蛙 ひょうきんに

綾部 保知

棚田より トキを見上げる 秋の暮

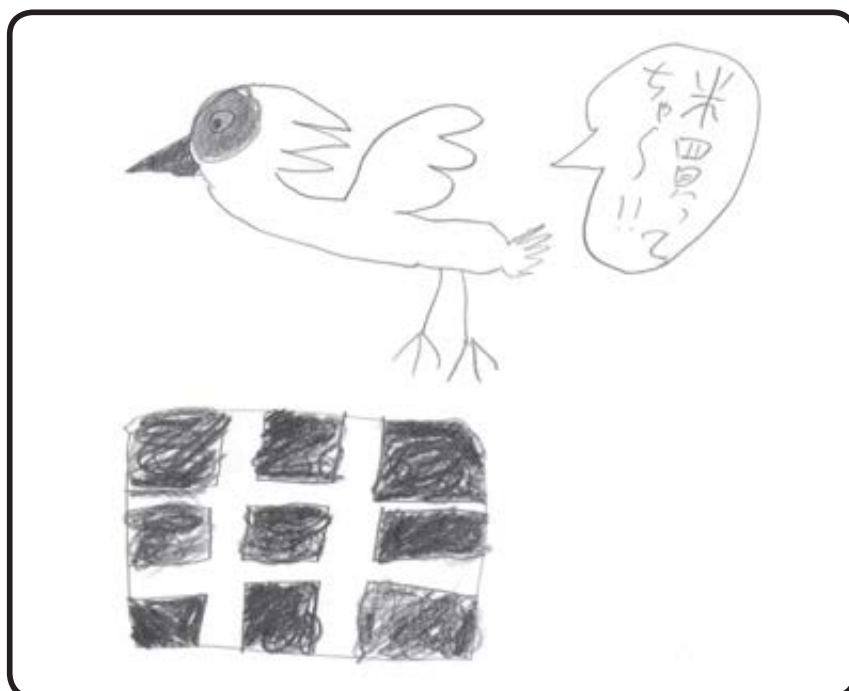
綾部 保知

元気です かえるもトキも 僕たちも

綾部 保知

凜として 熱きドラマの 生息地

溪太



佐渡 Kids 生きもの調査隊

小林 幹

朱鷺まもり 泥鰯棲む里 ビオトープ

溪太

佐渡守る 日本育み 地球愛す

溪太

人と虫 田んぼ賑わう 秋の郷

溪太

生態系 壊さず活かす 自然主義

溪太

竿の先 魚信まだかと 秋アカネ

溪太

外来魚 駆除活動や 薄紅葉

品川 三郎

絶滅を 努力で回避 時代の知恵

船岡 五郎

月連れて 行ってみようか 佐渡島

忘れられない あの祭笛

松原 実



佐渡Kids生きもの調査隊

三條 日菜子

田にドジョウ カエルにメダカ ゲンゴロウ 千葉さざんか

残照に おけさたゆたう 佐渡紀行ぞ 薬寺村池丸

佐渡の海 のたりのたりと たらい舟 エコ爺

佐渡の空 いつかは見れる ときの朱^{あか} エコ爺

干し柿に 想い出すは 佐渡土産 エコ爺

佐渡の島 銀河が洗う 通い道 横山 閲治朗

佐渡の海 飛んでいくのか 赤とんぼ 横山 閲治朗

佐渡の道 「ネスパス館」で教えられ

これであなとも 佐渡の旅路へ 山田 秀夫



佐渡Kids生きもの調査隊

土屋 日向子

移り住む 友の便りも 大自然

豊富な恵み 絶賛の声

山田 秀夫

いにしへの 歴史のフロア 満ちており

タイムスリップの 伝説館

山田 秀夫

図鑑見る 植物園 そのままに

自然散策 癒しのガーデン

山田 秀夫

幽玄な 茅葺屋根の 能舞台

華麗に舞うて 大膳神社

山田 秀夫

酒蔵で 銘酒に加え 地ビールをも

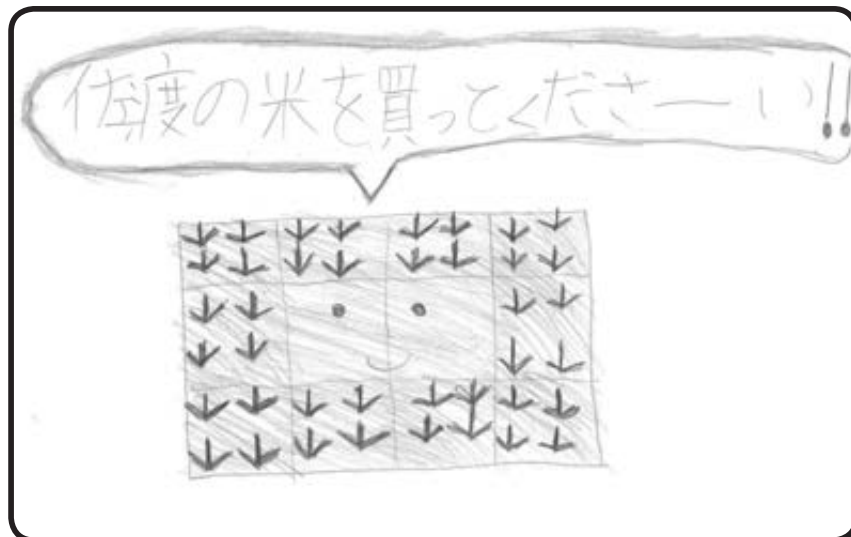
美味に恵まれ 一杯と進む

山田 秀夫

あんぽ柿 イカながも井 おみあげの

朱鷺の子らも 奥深い味

山田 秀夫



佐渡 Kids 生きもの調査隊

堂谷 彩

思いやる 人といのちに やすらぎと

安心がある 佐渡のいきもの

山田 秀夫

絶景に 出会う楽しみ 素晴らしい

奏でる芸も 世代を超えて

山田 秀夫

名歌手 新潟育ち 幸子さん

佐渡にも来させと 歌い続ける

山田 秀夫

江と田んぼ いっぱい生きもの動いてる

だからトキも ちゃんと生きれる

新潟大学教育学部附属新潟小学校 茂野 太郎

創ろうよ 生きもの、田んぼと 住める世界

新潟県立佐渡中等教育学校 野尻 達大

田んぼあり 空からトキが みあげてる

新潟県立佐渡中等教育学校 小林 美優



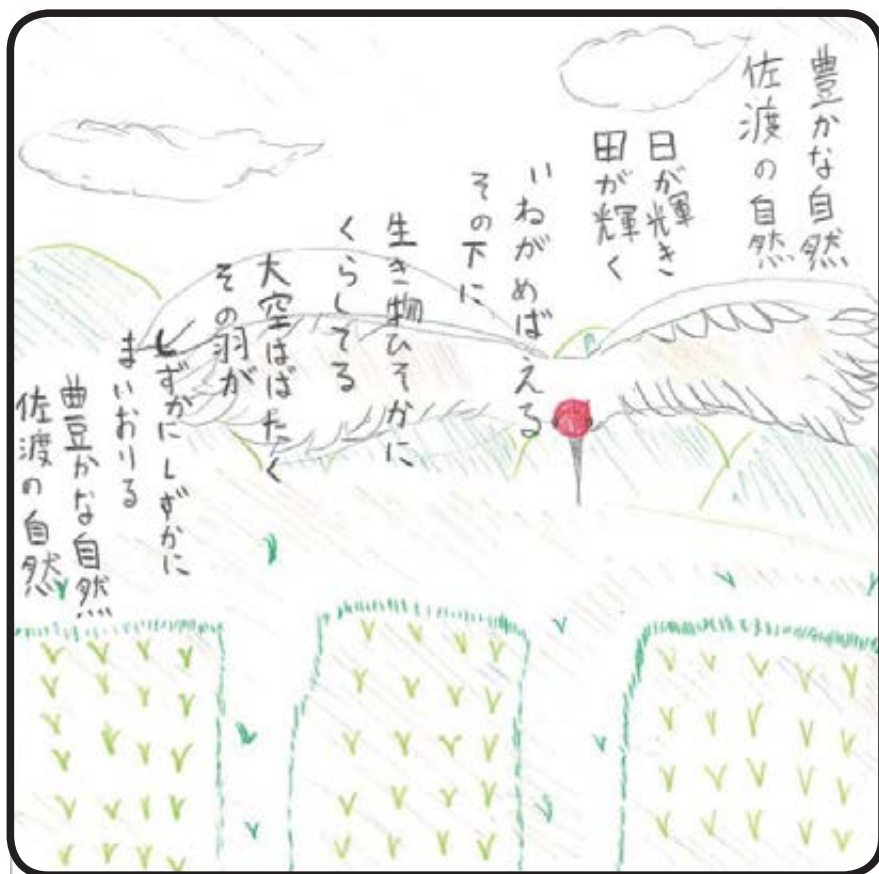
佐渡 Kids 生きもの調査隊

三條 彩夏

イラストエッセイ部門 グランプリ作品

新潟大学教育学部附属新潟小学校

遠藤 聖羅



【選考委員から】

田畑を見下ろしながら優雅に飛ぶ朱鷺がいいですね。また、エッセイも素晴らしいです。太陽の下、田んぼで稲が育ち、生きもの達も育ち大空を飛んでいるトキが舞い降りようとしています。

準グランプリ作品

新潟大学教育学部附属新潟小学校

森田 彩





藤井 航希



森本 晃弘



藤瀬 愛子



田邊 晴弥



大竹 明里



河内 颯一郎



掘 朱凜



篠田 英菜



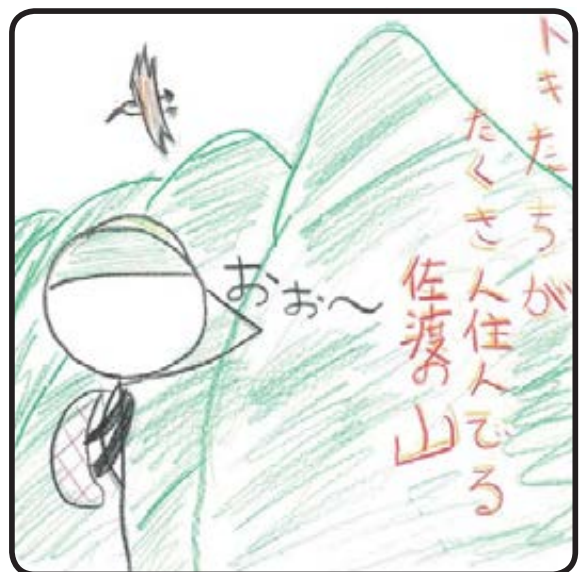
今野 龍一



小杉 悠翔



岩寄 亘平



渡邊 烈



渡辺 真由



丸田 絢光凛



吉田 有輝



川瀬 英一





甲斐 綾香



須田 真由



坂下 桃子



佐合 美彩希



市橋 柚希



筒井 悠介



奥田 竜矢



神蔵 菜々子



山本 衣織



首藤 紗蔵



◆ 生きものの語りの活用

佐渡Kids生きもの調査隊が、地産地消フェスタで、イラストやメッセー
ジのラベルを貼ったお米を販売しました。



平成26年11月30日 佐渡市地産地消
フェスタにて、「佐渡Kids生きもの
調査隊」が、生きもののイラストや
自分達が育てたお米のPRコメントを
書いたラベルを貼った自然栽培米の販
売を行いました。

当日は、子どもたち自ら、お客さん
にお米の宣伝や、量り売りをし、60キ
ロ用意したお米は早々に完売しまし
た。

▼佐渡Kids生きもの調査隊とは？

自然栽培のお米づくり体験や、生き
もの調査、PR活動など、田んぼや生
きものと、人のつながりを考える活動
を行っています。詳しくは、調査隊の
フェイスブックページをご覧ください。





佐渡 Kids 生きもの調査隊 Facebook ページ



[https://www.facebook.com/ 佐渡 Kids 生きもの調査隊 -273715639353868/](https://www.facebook.com/佐渡 Kids 生きもの調査隊 -273715639353868/)



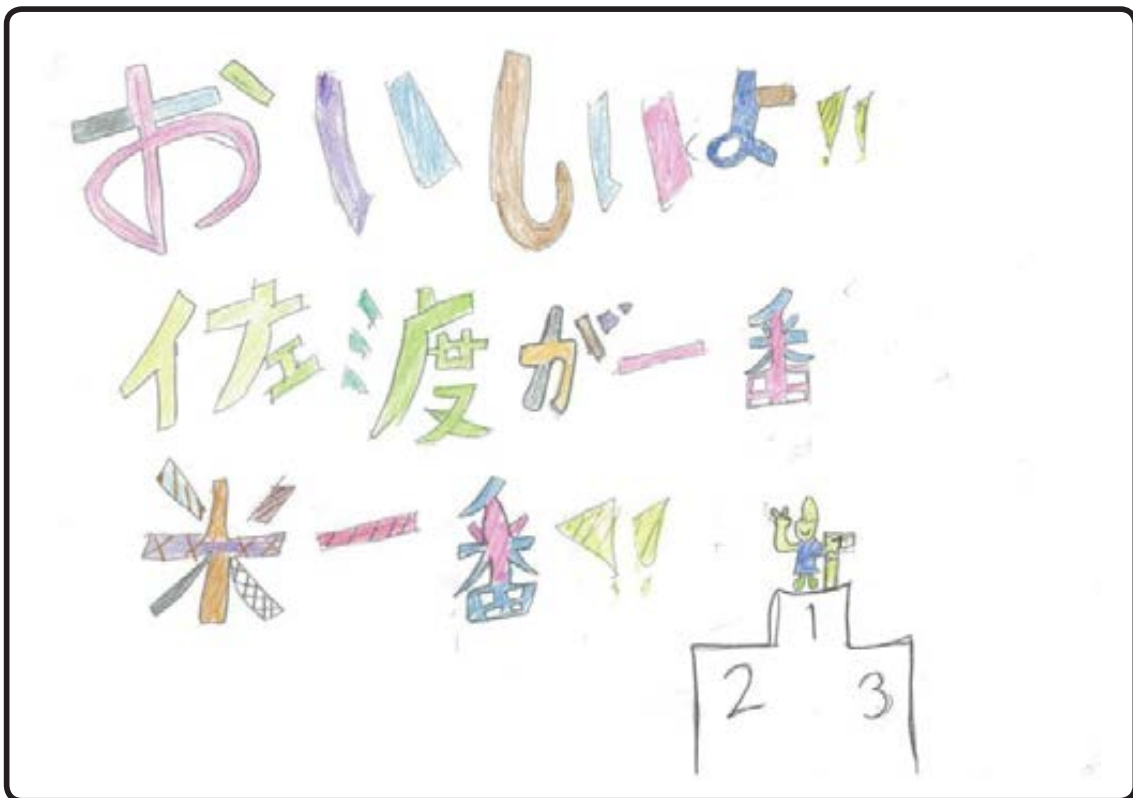
宇治 奈緒



古玉 ののか



三浦 里紗



名畑 莉花

平成24年、放鳥したトキから初めて4羽のヒナが育ちました。平成25年も繁殖に成功。平成26年には佐渡の自然の中で育ったトキが親になり、放鳥トキの孫にあたる3世も育ちました。今や野生のトキの総数は100羽を超えています。

これは国が立てた目標を1年早く達成するという快挙であり、佐渡の農家の取り組みである「生きものを育む農法」の効果をトキが証明してくれていると言えるでしょう。

自然の豊かさ、美しさ、その中で見つけたトキの姿、それを支える人びとの取り組みなど、様々な佐渡の魅力を、トキに負けずに人間からも発信していこうと、今年も佐渡生きもの語りを募集しました。

今年には川柳・短歌部門が101作品、イラストエッセイ部門が28作品、フォトエッセイ部門が1作品、そして佐渡に視察に来たインドネシアのオム・サイさんはポエム（詩）を寄せてくださいました。皆様、ありがとうございました。

これらの作品をご覧になった方々が、例えば佐渡への旅情をかき立てられたり、例えば田んぼ仕事の励みになったり、例えば佐渡のお米が食べたくなったりと、何かしらの思いを心に浮かべていただけたら幸いです。

2014年 3月

一般社団法人 佐渡生きもの語り研究所 理事長 仲川 純子



佐渡生きものの語り作品集 2014

発行日 平成27年3月31日 発行
編集・発行 一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所
発行者 仲川 純子
表紙 佐渡地域おこし協力隊 小川 佳奈子
〒952-0103
新潟県佐渡市新穂潟上 1101-1 トキ交流会館 2階
TEL/FAX 0259-22-2658 <http://sado-ikimonoken.jp/>
印刷・製本 新穂印刷